

平成29年津別町成人式を開催
42名が大人の仲間入り

1月8日、平成29年津別町成人式が中央公民館で執り行われ、42名が新たに大人の仲間入りをしました。

式典では松平範慶教育長職務代理の式辞に続いて、佐藤多一町長、鹿中順一町議会議長から来賓の方たちから新成人に向けて祝辞が贈られました。これに次ぎ、新成人代表の柳瀬由花子さんが町民憲章を朗唱、細川源生さんが成人の誓いを読み上げ、大人としての自覚と決意を述べました。

北見室内管弦楽団によるミニコンサートや、小中学校時代の恩師からのお祝いビデオ上映もあり、出席者の心に残る式となりました。



▲北見室内管弦楽団の演奏に聴き入る新成人たち

新年への希望を筆に託して
第50回新春書初席書大会開催

1月5日、50回目を迎える新春書初席書大会（主催 津別町商工会青年部）が、中央公民館で開催され、町内の小中学生66名が腕を振るいました。

参加者は、「げんき」「のびる力」「松かさり」「春光万里」など学年別に定められた課題の書に取り組み、手本を見ながら一字一字丁寧に筆を運んでいました。



引き続き行われた審査で入賞した作品は、網走信金津別支店、北見信金津別支店、津別郵便局、中央公民館に展示されました。

防災・防火への決意を新たに
消防出初式が行われる

美幌・津別広域事務組合津別消防署と津別消防団による合同出初式が、年明け間もない1月5日に行われました。

消防庁舎前で開会式を行い、続いて消防署員並びに消防団員が、消防車、救急車などの車両を伴い役場庁舎前を堂々と観閲行進しました。

この後、町民会館に会場を移して功労者、永年勤続者に対する表彰状の伝達式が執り行われ、式に臨んだ消防署員・団員たちは、火事や災害から地域の人命と財産を守る決意を新たにしました。

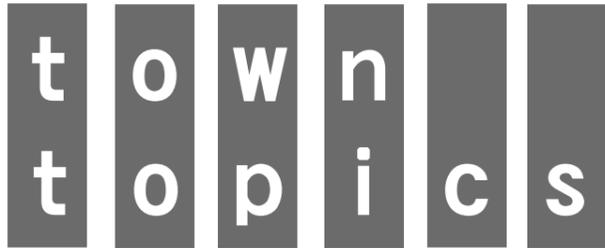


▲役場庁舎前で行われた観閲行進

津別町・台湾二水郷中学生相互交流事業
参加者6名が出発のあいさつ

1月6日、平成28年度津別町・台湾二水郷中学生相互交流事業による友好都市・二水郷訪問団が町長室を訪れ、出発前のあいさつを行いました。

佐藤町長から「たくさんのことを吸収してきてください」との言葉を贈られた中学生6名（いずれも2年生）と引率者の宮管教育長、津別中学校・可児校長、同・柴田教諭は、1月8日から5泊6日の日程で台湾を訪れ、歓迎ムードの中、二水郷の中学生らと様々な交流を行い、13日に帰町しました。



まちのわだい

道道津別陸別線木樋二又区間の携帯電話不感地帯
が解消されました

道道津別陸別線の木樋と二又にNTTドコモ北海道様の事業により鉄塔2基が建設され、木樋二又区間で携帯電話・スマートフォンが使えるようになりました。

正式サービスは2月下旬ですが、すでに試験電波が発射され、利用できる状態となっております。どうぞ御利用ください。

※電波の境界付近で一部電波が弱まる区間があります。御了承ください。
※建設に当たっては地権者の御協力をいただいております。



1月11日、NTTドコモ北見支店長らが来庁して説明

平成28年度のテーマ「ヘルシーで温かい肉料理・魚料理」
「男の料理教室」のご案内

今年の「男の料理教室」は、2月～3月にかけて下記の内容で行います。料理の苦手な方・包丁を全く握ったことがない方大歓迎！！

対象者 町内にお住いの60歳以上の男性の方（一人暮らし・家族と同居・二世帯住宅等、世帯の状況は問いません）
開催日時と予定している献立

- 第1回目 2月15日（水） 献立：チキンカレー 他
 - 第2回目 2月22日（水） 献立：さんまの蒲焼丼 他
 - 第3回目 3月1日（水） 献立：豚すき焼き 他
- ※3回とも、時間は午前10時から午後1時ごろまでです。

会場 津別町民会館 調理実習室と和室
講師 津別町役場管理栄養士 土井ゆかりさん
参加費 各回300円（材料費として）
定員 各回20名（申し込みは各回1週間前までに）
申し込み・問い合わせ先

津別町社会福祉協議会（佐藤）まで ☎76-1161

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

この自然にみちびかれて

すどう しゅん 1987年生まれ 鉦路町達古武出身 グラフィックデザイナー



NeoFolkの一員となり約一か月が経ちました。地元鉦路を離れ、ここ津別町相生に拠点を移して今日まで、大変充実した毎日を送らせていただいております。

上京し進学&就職できたものの、都会でのデスクワークに限界を感じ、自然の中で暮らしたい。そんな思いが芽生え、退職し長野県で畑仕事に従事。収穫を終え地元鉦路に帰省。

改めて道東の大自然に触れ、この土地で生まれ育った自分の奥底に流れるリズムとこの大地の「自然」が共鳴し、新発見の数々。中でも鉦路沿岸に流れ着く流木、漂流物の数々は、その後の様々な制作において大切なマテリアルと化してゆくのでした。

そんななかNeoFolk

k主宰のシゲちゃんこと大西重成さんとの出会いは約5年前。シゲちゃんランドを訪れた時のことでした。そこで目にし体感したあの作品たちとの出会いは、僕に様々なインスピレーションを与え、今を生きる道東の生命の体現と表現で実感する素晴らしい体験でした。ここに生きる誇りと感動を生かしていける人でありたい。大西さんと出会い、強くそう思いました。

月日は流れ、道東の真ん中でシゲさんと共に活動ができること、自分を受け入れてくれた町や町民の皆様がこの場を借りて心から感謝申し上げます。

地域のデザイナーとして、そしてNeoFolk一員として今後とも活動していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

